

ゆんたくひろば

Vol.22

～発行～
琉球國祭り太鼓
東京支部事務局
〒166-0013 杉並区堀ノ内2-4-3
TEL/FAX 03-3317-5546
<http://www.matsuridaiko-tokyo.com/>

新年明けましておめでと
ございます。

ゆんたく読者の方々ははじめ、琉球國祭り太鼓をご支援いただいている皆様方には、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は戦後60年の節目にあたり、私も一人として平和への願いを新たにす
る一方で、いまだに世界各地でテロや紛争等が頻発する現実に、世界平和への道程の難しさを痛感させられた一年でした。しかし、かつて悲劇の舞台となった沖縄の人々の平和への思いを、太鼓を通して一打々々心をこめて打ち響かせていくことこそが私たちの使命だと考え、日々精進している次第です。



皆様方の温かいご支援により、来る2月9日、私も琉球國祭り太鼓東京支部は、設立10周年を迎える運びとなりました。これまで何度となく苦境に直面いたしました。このような長期にわたって活動を続けてこられましたのも、日頃お世話になっている関係者の方々や、東京支部の礎を築いたOB・OGのおかげと心から感謝しております。そこで、これまでお世話になってきた方々をお招きして、ささやかながらおもてなしをさせていただき、記念式典をはじめ、10年という月日の集大成となる10周年記念公演、記念公演のブレイブメントなど、今年は10周年ならではのイベントが数多く開催される予定です。

考えるかたわら、現在はその記念公演にむけて東京近県に沖縄の風を吹かせるため、また各県に支部を設立するためのブレイブメント公演を一部六県で開催することを目標とし活動しております。

さて、これまで関東地区長として琉球國祭り太鼓に携わってきた私は、11月に行われる10周年記念公演を期に現役を引退し、後進に道を譲る決意を固めております。その後は陰ながら裏方として祭り太鼓の活動を支援していきながら、自分の夢の達成に全力を注いでいきたいと考えております。私の新たな夢、それは沖縄をはじめとする各分野の芸能を極めたエンターテイナー達が集い、その芸を披露し、訪れた人々すべてにとつて楽しく、心地よい空間をプロデュースすることです。まだ準備段階ではありますが、近い将来必ず実現させる心積もりですので、開業の際はぜひ足をお運びください。



関東地区長
水野順一郎

10年間にわたる太鼓演者としての生活に終止符をうち、フィナーレを飾ることとなる今回の記念公演にかける私の思いはひとしおですが、何よりも琉球國祭り太鼓東京支部にとつての10周年記念公演が、皆様のご期待を裏切ることのないよう、最後の最後まで努力していきたいと思います。

最後に、皆様方にとりまして、新しい年が幸多き年でありますよう祈願いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。今後とも琉球國祭り太鼓を未永くご支援くださいますようお願い申し上げます。

いつも私たちの「ゆんたく」を楽しみにしていただいている皆様、ありがとうございます。

今回は「10周年なので10ページスペシャル」です。

楽しんでいただければ、幸いです。

← ではごゆっくり・・・。





2005 年はいくつものイベントがあり、イベントの数以上に出会いがありました。

熱かった私たちの2005年。まずは新宿エイサーまつりからお届けします。



← 新宿通りにて
→ 出番直前の龍！

新宿エイサーまつり 二〇〇五

二〇〇五新宿エイサーまつり、今年は約九十万人の観客の方と共に盛り上がりました。10団体、約六百人が出演してそれぞれの魅力的なパフォーマンスを披露する事ができたと思いません。

私たち琉球國祭り太鼓も東京支部の他、沖縄本部、徳島・岐阜・愛知支部のメンバーが集まり、普段とはまた一味違った盛り上がりを感じることができました。各支部演技は同じですが、それぞれに独特な雰囲気など有りますので、機会があればそこにも注目して観ると新たな楽しみがあるかも知れません。

新宿エイサーは普段のイベントよりも大規模になりますので、本番に向け日々練習を重ね、準備をしました。練習場では本番のような広さがありませんのでリハーサルするのに公園も利用しました。新宿の大通りをイメージして、本番と同じぐらいの広さを使って構成を練り直しながらより良いものを作り上げるよう試行錯誤しました。



← デビュー！！



また春に入ってきた新人メンバーも新宿エイサーでのデビューを目指しているので、新人さんも練習が忙しく、また指導するレギュラー陣も大忙しでした。

その他、道具の準備などもあるのですが、仕事や学校に通う以外で時間を捻出して準備を進めていました。新宿エイサーなど大きなイベントなどでみかける高々とそびえる旗頭や龍、獅子、看板なども私たちが一つ一つつくったものです。

そして本番当日、新宿アルタ前本番スタート・・・なんと、いきなり音響トラブル!!どつやら音響の電源が落ちてしまったらしく曲が流れません。しばらくたって復旧したのですが、出演時間が減ってしまったために予定していた構成での演技はできず一曲のみの演技となりました。龍や獅子・子獅子の舞、龍の口から吐く煙、そして旗とのコンビネーション、など練習時間に本番の何倍もの時間を費やしたため、その時はとても残念でした。しかしその後にもつ一度アルタ前での出演が入っていたので、その時に披露することができました。練習の成果が無駄に終わらず、観客の皆さんに披露することができて本当によかったです。太鼓は曲が変わり、「ドウシンチャーチバリヨ」に合わせ入場しました。新演技曲「ジュンヤマムラ」の「仲里節」の演技も披露しましたが、ジュンヤマムラさん本人とコラボレーションすることができともうれしかったです。やはり生演奏と一緒に演技するのは格別ですね。

昼間の連続出演も終わり、疲労がたまっていたとは思いますが、夜の部はフイナールに向かって最高潮でした。地元沖縄では太陽の落ちたあとと生ぬるい空気の中、汗を拭いながら太鼓をたたきながら歩くので、夜の雰囲気は特に沖縄を思い出します。コマ劇場前、新宿東口商店街と出演し、最後の演舞場になるモア商店街では例年の様に観客の皆さん交えて「かちやーしー」で盛り上がりました。イベントが終わり、心地よい疲労と高揚、観客の皆さんと感じた一体感、そしてメンバーの本番までの努力に対する何ともいえない気持ちに湧き上がりました。

その後は打ち上げもあり、各団体と交流することができました。また何かのイベントで御一緒できるのを楽しみにしています。

最後になりましたが、新宿エイサーの実行委員やスタッフのみなさんなど数多くの方々の支えがあつてイベントが成功に導かれたと思います。本当に感謝しています。ご来場の皆様もありがとうございました。

(山城誠)

怒涛の2005年8月の遠征3連チャン！！いきますよ～～



EXPO2005
『愛・地球博』出演報告
『愛・地球博大交流祭、祝
おう！いのち讀えて』

今年、日本中を大興奮させた『2005愛・地球博』に東京支部も8月19・20日の2日間、参加してきました。前週は徳島市阿波踊り、翌週は沖繩にて全島エイサーまつり、と超ハードな日程でしたが、万博出演への意欲満々で、東京支部からは40名が参加！また主催の沖繩本部や開催地の岐阜・愛知支部以外にも全国各地の支部が集い、約150人の祭り太鼓関係者が集結した大イベントとなりました。会場は長久手会場センターゾーンの『愛・地球広場』。愛媛の祭「牛鬼担ぎ」との共演や、ジュニア中心の元気なパレードに誘われて、広々とした芝生の上に観客が続々と集まってきます。

18時半、軽快なポップス曲に乗った旗と旗頭の共演で、演舞スタート！約1時間のステージの前半は、「神々の詩」や「風の結人」などよく使う曲もあれば、「あやぐ」「前め浜」など久しぶりの曲もあり、メンバーは入れ替わりの出演。締め太鼓やパーランクーメンパーは衣装チエンジで大忙し。ステージ上にはビッグサイズのビジョンがあり、演技中のメンバーが次々に映し出されます。待ち時間にはビジョンチェック。メンバーのきりりとした横顔や凛とした眼差しが最高にステキでした。

中盤の獅子の演技では何頭もの大獅子とともに東京支部自慢の小獅子も2頭、元氣よく出演し、観客だけでなく出演者からも大人気。後半は全員出演で、ミルクムナリからフィナーレへとなだれこみます。ここで東京支部ジュニアは、この日のために一生懸命覚えてきた「五穀豊穣」初披露。

ト리는お馴染み「年中口説」。ずらり並んだ締め隊の年中ジャンプは、圧巻！最後は、広場のお客さまも共演者も祭り太鼓メンバーも入り乱れて、みんな笑顔の大力チャーシュー！あつという間の2日間でしたが、2005年夏の忘れられない思い出になりました。
(小黒奈央)

↓ 大きな画面の前で
エイサー教室
↓ テントの中はぎゅっしり



握手をもとめてくださる方、目に涙を浮かべて見てくださっている方、温かく声をかけてくださる方、たくさんの方に応援されて、またさらに気持ちが高まり演技に力が入りました。桝敷席での会場も阿波踊りならではのものが格別壮大なものでした。

徳島遠征 徳島市阿波踊り
「はあ〜やつとさあ〜」
今年も徳島市阿波踊りに参加してきました！ いまや恵まれ、バスでどこへも行ってしまう私たちは8月12日深夜に出発、予想外の渋滞で到着したのが次の日午後2時。思うように睡眠もとれず疲労した体、だがそんなことも言っていない時間はなく徳島・関西・岐阜支部との合流、打ち合わせ、そして出演。
会場に着くとどこからともなく集まる阿波踊り連の方々、その姿をみると祭りへの熱い思いが込み上げてきました。たくさんのお客さんに見守られて演舞するのはやはり気持ちがいいものでした。手をさしのべて

移動や待ち時間もありませんでしたが、待機中にもかかわらず曲がかかると自然と体が動き、踊りだす疲れ知らずのメンバーはまさに太鼓バカ。「踊る阿呆に観る阿呆・同じ阿呆なら踊らにや損そん」という言葉はこういうことを言うんだなとまた今年も実感したのでした。
音響カーットのトラブルもあつたりと一時はどうなるかと思いましたが愛媛支部の方がカートを持って急遽かけつけてくださり、無事に終えることができました。たくさんの方々のつながりがあった阿波踊り、お客さんをはじめ多くの方に支えられながらまた来年へとつなげていけるといいなと思っています。
(玉元聖恵)



琉球國祭り太鼓東京支部オリジナルグッズ販売中

- 泡盛(まさひろ)720ml — 2500円
- キーホルダー — 300円/350円
- エイサー人形 — 700円
- オリジナルTシャツ — 2500円



一口3500円(ビデオの送料含む)以上の寄付をしていただいた方に
記念公演記録ビデオ・DVD(3,5,7周年いずれか)を差し上げています。

雨にも負けず

全島エイサー祭り

2005

8月28日夏真っ盛りの沖縄で開催された第50回全島エイサー祭りに参加してきました。今回の見所はなんと1つでも祭り太鼓初約70cmもある長八チを使って踊る「揚作田」!! 普段の3倍近くの長さで重さの八チにみんな練習から悪戦苦闘・・・毎日の練習を重ねいざ本番へ! 全国からこの日のために集まって



↑ いつもの準備場所で・・・今年は雨上がりでした。出演前にタビがびしょびしょ。

きた約170名ものメンバー全員が長八チで踊る姿は圧巻でした! 今回は歌手のPANAさん、レキオスや50頭もの獅子など多くの他団体との共演で360名以上の出演となり今までにないド・迫力の演舞となりました。・・・つがー雨の影響で出演時間が大幅に削られや不完全燃焼でしたが観客席からの暖かい拍手と歓声で気持ちよく出演することが出来ました。

この全島エイサー祭りで東京支部怒濤の夏の出演が一段落つきましたがこれか



今回は太鼓の男性陣は全員、黄色の衣装。→ 締め太鼓の水野さんは黒と金の衣装。

らも出演はたくさんあります。みなさまによりよい東京支部をお見せできるよ! これからも日々練習に励んでいきたいと思えますので応援ゆたしくうにげーさーびらっ (上洲奈央)

女性陣はカラフル衣装 → カラーゆんたくならでは!

『懐かしい仲間たち』

9月23日、京都支部の設立三周年記念公演に水野さんと二人で参加してきました。私は京都支部立ち上げの少し後に京都支部に入つて、京都で祭り太鼓の活動を2年間続け、2005年1月より東京支部に移動して活動を続けさせていただいています。

京都で沖縄のエイサーを始めて認知してもらおう、というのは大変なことでした。練習場所もなかなか見つからず、週一回の稽古場での稽古も音が大きいため太鼓を全員で持つてはできませんし、もちろん太鼓も人数分ありません。みんなバイト代をためて太鼓を買ったり、沖縄本部から借りたりして少しずつ太鼓を増やしました。日曜日は自転車にまたがり、ラジカセを前かごに入れ、太鼓は背負って鴨川の岸辺まで行き、チラシを配りながら練習していました。それでも女性ばかり11人でしたから仲はよく、練習が終われば誰かの家に集まって鍋をしたり、泡盛を飲みながら語りあったりしたものでした。

当日の朝、会場の入り口には東京支部から花が届き、京都支部のメンバー一同大感激でした。二部構成で一部の最後には和太鼓グループ「春太」との和太鼓の競演。なんせ京都支部のメンバーのうち7名は和太鼓出身ですから。

私ともうひとりの京都支部のメンバーは同時に涙の京都支部卒業をしたのですが、完全に引退していたその彼女も基本曲のみ猛練習して参加しました。更に京都支部立ち上げで大変お世話になった、こちらもすでに引退された元指導部長の

平さんも「神々の詩」一曲のみ復帰・出演してください、舞台には現在の副指導部長や水野さんも締めで加わり、もう二度と見ることはできない豪華なメンバーでの演技になりました。

かちやーしーのあとアンコールはミルクムナリで幕となり、もちろんその後は大好きな宴会で「あつり乾杯!」となりました。こうして場所が変わっても祭り太鼓の仲間はいろんなところにおいて、遠征で会って一緒に演技をするのが楽しみなのです。(澤口佳奈)

→ 花を囲んで、女性ばかり・・・



ジュニアも誕生!

めんそーれ！たーけー + おかえり！ヤギくん

『東京支部の仲間になつて』

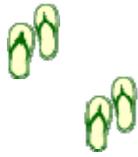


このたび山城直樹に変わりまして安里武博が、東京支部副支部長に就任いたしました。変わらぬご支援よろしくお願い致します。



東京支部のたーけーですーまずは簡単に自己紹介から★出身は沖縄県で年齢23才の自他共に認める《太鼓バカ》ですー去年の4月に上京してきたばかりで東京生活も1年近くが経ちました。

東京支部に入部してからは半年になりますが、もともとは沖縄県的那覇支部で活動をしていました。東京支部立ち上げの頃にはすでに練習を始めていたので、東京支部とは昔から仲良くさせて頂いてましたーなので、まったく違う環境で太鼓を叩くことに違和感を感じることなく楽しく活動をさせていただいています。



今年で東京支部創設10周年を迎えますが、関東地区長の水野さんの元で最高の仲間達と楽しく太鼓を叩き、お客様に笑顔と感動をお届けする《太鼓バカ》であり続けたいと思います
(安里武博)

『帰ってきましたー』

祭り太鼓に入ってから初めて長期休部をしていましたが、10月のイベントで再デビューすることが出来ました。また色々な場所で太鼓を叩き、多くの人と出会うことを楽しみにしています。今後ともよろしくお願ひします。(八木隆)



ディズニーランドで息抜き

イベント・練習続きの毎日、たまには羽をのばして遊ぼう！と、ジュニアメンバーと大人メンバーの希望者でディズニーランドへ行ってきました。初めて行くジュニアも大はしゃぎですが、大人も負けずに大騒ぎでした。



僕達は生まれて初めてのディズニーランドでした。天馬はたか君と、遼馬はガチャさんと手を繋いでもらってまわりました。たか君はバズライト・イヤーがすごく上手です
僕達はジェットコースターが苦手ーその時は同じく苦いな真梨子さん・おくおくさん・かなさんが一緒にいてくれて助かりました(笑)行き帰りはともえ先生にお世話になりました
こんなにメンバーさんと仲良くなれるなんて最高に楽しかったです(笑)水野さんに感謝です
(てんまりようま)

みんなと太鼓以外で遊べて楽しかったです！
(みずき)
言葉にできないほど楽しかったです！
(かずさ)



初めて祭り太鼓のみんなと一緒に遊んで、初めてスプラッシュマウンテンにも乗れたのでうれしかったです。パレードが見れなかったのがちょっと残念でした。でも楽しかったです。今度は、大勢で行きたいです。
(ありさ)



こんな感じですーとても楽しい一日でした
(尾崎智絵)



練習のときは違ったジュニアの新たな一面が見られた楽しい一日でした。では、ディズニーランドでのジュニアの様子を少し紹介します。
まずは、ジェットコースターが苦手な瑞紀。頑張つてスペースマウンテンに乗り、緊張のあまり待ち時間にミルクムナリを踊つて、阿梨沙に必死に止められていて、ちょっとおもしろかったです。天馬はかなさんがすごく怖がついていたスペースジェットに一人で乗つて大人メンバーから拍手でした。遼馬はステイツチの耳が欲しくて、乗り物をひとつ諦めて耳を買っていました。ちなみに阿梨沙もダンボの耳を買っていました。和佐は怖いけどジェットコースターに乗りたい子。乗つてからは安全バーが和佐の大切なお友達です。阿梨沙はほんとにディズニーランドを楽しんでいました。乗り物も一番たくさん乗つたかな。
*引率を代表して



敬老の日慰問
「原点に戻った心の交流」
 9月19日の敬老の日、東京と埼玉の2ヶ所のデイサービスセンターにて慰問出演をさせていただきました。地域の皆さま、おばあさん方たくさんの方に見て頂きました。最初は皆さん「何が始まるんだろう」という感じでしたが、出演が始まり、曲が進んでいくにつれて皆さんの表情も明るくなっていて、最後には手拍子を頂いたり、涙を流して喜んでいらっしゃる方もいらっしゃいました。



一番印象に残ったのは、ミルクムナリのおじぎの部分と一緒におじぎをしている方もいらしたのが印象的でした。
 このような慰問活動は、私たちの原点であり、常に見てくださっている方々に感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張っていきたいと思えます。(越川一宏)

←↑ 当日は晴れたため、急遽外での演技。入居者のご家族やご近所の方々もたくさんお集まりになり、敬老の日を大勢で楽しく祝いました。 →



ビアガーデン
「夏はビールであつり乾杯」
 皆さん、夏といえば何を思い浮かべますか？花火？すいか？海？もちろんそれも素敵です。けれど・・・！大人はやっぱりんきんに冷えたジョッキのビールでしょう！！
 というわけで、私たち琉球國祭り太鼓も夏になるとビアガーデンでの演舞が多くなってきました。そのうちのひとつが、新宿にある住友三井ビルで開催されているビアガーデン。昨年に引き続き呼んでいただきました！
 今回の演舞は沖縄本島のメンバーも一緒です。新宿エイサー祭りから怒涛の連日イベントでしたが、沖縄本島メンバーはその後とに東北遠征を控えているにもかかわらず、一緒に参加してくれたのです！普段はなかなか一緒に踊れない沖縄のメンバー達、並んで踊るとなるとやはり意識が高まつてガーイー（我宋 魂がぶつぶつ・・・笑

同時に、同じ舞台上で踊れる嬉しさもいっぱいですが、さすがビアガーデンならではあって、ほろ酔い気分で真っ赤な顔をしながら皆さん手拍子で盛り上げてくださいました！おかげさまで、沖縄メンバーに負けなくらい、ハイテンションで踊ることができました！演舞後の生ビールの美味しいこと！！幸せでした笑
 今年ご来場できなかった方、来年はぜひともどこかのビアガーデンで、祭り太鼓を見ながらビールを片手に「あつり乾杯！」してくださいね (井澤真理子)



←↑ イメージ・・・沖縄の海で



スポンサー企業募集中!!
 琉球國祭り太鼓東京支部はただ今スポンサー企業を募集しております
 活動、趣旨に賛同してサポートしていただける企業を募集しております。スポンサー特典として琉球國祭り太鼓東京支部バスパレード音響車などへの広告掲示、企業関連イベントへ協力参加させていただきます。詳細は琉球國祭り太鼓東京支部事務局までお問い合わせください。
 お問い合わせ
TEL. 03-3317-5546



「5年半の思いを込めて...」
 10月10日保土ヶ谷スポーツセンターのフェスティバルに参加しました。このセンターは2000年3月に神奈川県方面メンバーが増えたことを機に利用し始め、早5年半の月日が流れました。当初は一人一人だけの練習ばかりでしたが、やつとセンターのスタッフ方々に感謝の気持ちをこめた演技を見ていただくことが出来ました。
 スタッフをはじめ多くのお客様や子供達にも大変喜ばれ少しはお礼ができたかなあと思えます。(音藤哲也)

続報！「私たち・僕たちデビューしました！！」

前の号でお伝えしたデビュー目指して頑張ってきた新人さんたち。
とうとう5人が新宿エイサーまつりで、
1人が全島エイサーまつりで太鼓デビューしました。
また新宿エイサーまつりでは2人がパーランクーデビュー。
ジュニアも上野夏まつりで1人デビューしました。
そしてまた新しく入った新人さん。
今回は続報・デビューまでの闘いです。

新宿エイサーまつり 太鼓デビュー組



『新宿エイサー祭り2003』で祭り太鼓と出会うつから約一年、ファンサイトの写真撮り続け、『新宿エイサー祭り2004』の時に入部を決意しました。
そして、入部時から目標にしていた『新宿エイサー祭り2005』で太鼓デビューしました！祭り太鼓と出会った場所です！太鼓を叩けたのは最高の喜びでした！！

(吉越崇晃)

たくさんの人を支えられて念願の新宿デビュー！初心を忘れずにこれからも頑張ります。
(尾崎智絵)

東京支部に所属して早1年が過ぎてデビューを果たしました。それまでの道のりは長く、悔しいものでしたが絶対新宿ではと願った新宿エイサー祭りデビューする事ができました。あの時のお客様やメンバーの心底楽しんでる笑顔が忘れられません。私も心底楽しくこの様な大きな所で踊らせて頂いた事に感謝しその気持ちを忘れずこれらの舞台上に携わっていかれたらと思います。(樫屋遥美)

新宿デビューが有言実行できずとも悔しい想いをしました。しかしできる限りの努力は自信に繋がりました。イベントや作業が忙しい中、熱い指導&激励してくださった先輩方&皆様のおかげです！これから『感謝の気持ち』を想いながらちばります！
(兼城麗美)



全島エイサーまつり in 沖縄でデビュー

新宿で太鼓を叩けて最高でした！！
(我謝幸春)

あの日新宿駅東口周辺が沖繩一色に染まっただんです！出演者として参加できた事を有難く、また誇りに思います。一生の思い出になりました。
(大城宏太)

パーランクーデビュー



今まで一番祭り太鼓に没頭しました。デビューを自分の事のように喜んでくれたり、指導してくれたメンバーには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとう。
(新城稲美)

ほぼ毎日の先輩方とのコン練の甲斐あり晴れてパーランクーデビューする事ができました。これから日々精進で演技に磨きをかけていきたいと思えます！
(上江州奈央)



ジュニア パーランクーデビュー



初めて人前で踊った時はすごく緊張しました。でも踊っていたら、すごく楽しくなっていて途中で踊ってしまいました。踊り終わってから、今までがんばって練習してきた良かったと思えました。
(あき)



太鼓デビュー目指して頑張ります！



早くデビューできるように練習頑張ります！
(斉藤貴美恵)

不撓不屈の精神で頑張ります！
(藤田千裕)

まだまだ険しい道のりですが、年内デビュー目標に日々是精進です！
(都築和也)

気力、体力、時の運、全てを祭り太鼓の為に！
(南合毅)





子獅子を見つけました？

去年は新宿エイサー祭りやチャランケ祭りなどでお目見えした2頭の子獅子たち。大人の獅子の間をすり抜けてお客さんにちょっかいを出したり、ごろんと転がったり。たまにはやりすぎて大人の獅子にしっぽをかまれてそのままずる～っと引きずられたり。イベントで出てくるたび大人気の子獅子たち。

中に入って演技しているのはまだ小学生の4人です。練習も暇を見つけては芝生でごろーん。

あまりにもしっかりした動きに、「大人がひとりではいっている」と勘違いして上に乗ろうとするお客さんまで！！絶対にやめてくださいね～。

↓大ききの差は歴然！



チョンダラーの★正しい★作り方



1. 顔に白いドーランを塗ります



2. 紅をさして、かわいくすれば



3. はい、できあがり～



4. あ～れ～！！パクッ



5. マイカーでおでかけ



6. 両手に花！

昨年は「チャランケまつり」のみでの出番となりました。

たま～にみかける「チョンダラー（道化役）」演じる人によって個性様々です。

メンバー募集



沖縄人（うちなーんちゅ）か沖縄が大好きな人
お祭り好きな人

16～28歳の健康な男女
太鼓が大好きで、やる気と体力のある人
練習やイベントに積極的に参加できる人

★ 練習は不定期で週に2～3回、
夏季はほぼ毎日あります。
土日・祝日の多くはイベント出演となります。

・・・お問い合わせ・・・

担当：安里武博（副支部長）

kengaku@matsuri dai ko-tokyo.com

タイ遠征 「万国津梁の心 〜微笑みの国・タイ〜」



ムンとした東南アジア独特の熱気と喧騒、耳慣れぬ言葉の空港アナウンス。そこは明らかに日本とは異なる空気でした。

12月9日の夜、日本で厳しい寒さが続く中、14名の東京支部メンバーが太鼓を抱えて降り立ったのは“常夏の国・タイ”でした。現地日本人会主催の日タイ交流ラムウオン盆踊り大会での演舞披露の為です。

地区長以外は全員初めての海外遠征。空港でも移動のバスでもみんな興奮を隠しきれません。その夜は翌日に備えてホテルで休養。

翌日、午前中のリハーサルは、沖縄を思い出させる強い日差しの中で行われました。気持ちよく晴れて良かったと思いつつ、あまりの暑さにちよつとぐっさり・汗。

夕方になると少し涼しくなり、縁日風の露店が並び始め、雰囲気は日本の夏祭りそのもの！タイの女の子達が着る浴衣が華やかに彩ります。

私達も夜の出演に向けていつもより少し早く着替えを始め、女性陣は入念にメイク。刻一刻と出演の時間が迫り、緊張で何も喉を通りません。縁日とやぐらの灯りが辺りを照らす頃、出番はあつという間にやってきました。急いで14人全員で気合いをいれ、『頑張ろう！』『楽しく踊ろうね！』とお互いに声を掛け合います。

すぐに1曲目の武の舞が流れ、私は緊張でいっぱいになり、思わずみんなを振り返りました。すると、緊張は消えはしないものの、力が湧いて踊ることに全神経を集中させることができました。ステージに飛び出すと視界の端から端まで人がいっぱい！・！・！たかさんの人の視線を体いっぱい感じながら、無我夢中で踊りました。クーダーカーヤ年中口説でのみんなとのヘーシの掛け合いや、お客さんの手拍子が最高に気持ちよく、心の底から笑顔で踊れたのを覚えています。

最後はお馴染みの力チャシー！2頭の大獅子も大活躍！タイ人も日本人も入り乱れてみんな一緒に踊ります。

いつか外国で他文化の人たちの前で踊り、国籍など関係なく世界の人たちと力チャシーを踊りたい！。そんな夢を持っていた私は、それが今まさに叶っているという実感を噛みしめていました。もっと踊りたいという名残惜しさいっぴいの中、日タイ大カチャシーも幕を閉じ、最後はたくさんの拍手をいただくことができました。

お祭りのフィナーレを飾るのは、夏祭りらしく大きな打ち上げ花火。花火がある度、その素晴らしさに日本人もタイ人も歓声をあげます。その中に混ざって花火を見上げていたとき、民族や文化は違えど何かに感動する心は同じなのだといふ確かなものを感じ、胸がいっぱいになりました。音楽を含め芸術は国境や民族を超越するもの、感動する“心”に境界線は引けないと私は信じています。今回のタイ演舞で、これからもその信念を捨てず、文化と文化の架け橋になれることを目指し続けたいと改めて思いました。



最後になりましたが、大変お世話になった日本人会の皆様、遠い異国の地で共に感動を創ってくれたメンバー、そして日本でも応援してしてくれたメンバーとお客様に心から感謝いたします。またいつか、あの“微笑みの国”で沖縄の音を打ち響かせられることを夢見て・・・（井澤真理子）

みんなはしゃいでます

タイでもピシッとキメました！



新連載！！ 水野順一郎の 最近思うこと



Vol.1



96年の2月に東京支部を結成して早いもので10年を迎えようとしております。この節目の年にあたる2006にふと最近思ったこと・・・自分やみんなの年齢が自分の中で変わっていないことです。学生の頃に入学した人は何年経っても学生のままで、社会人や自分までもが昔のままでいるような気がします。

これは一年一年が早く進んだ上に、大勢の人前で太鼓を披露することによって顔が生き生きとし若々しくなっているんだなうって思う今日この頃です。11月で37才になりました。自称29歳くらいと微妙な年齢でさばをよんでこれからはじけまくります(笑)



イベント予定

2006年もイベント盛りだくさんです。10周年記念公演もおたのしみに！

1/29 (日)・30 (月)

2006 Cathay Pacific International Chinese New Year Night Parade

* 沖縄本部の応援です。中華人民共和国香港特別行政区への遠征です。

2/11 (土)

東京支部設立十周年記念式典

場所* ホテルはあといん乃木坂
大宴会場「フルール」

時間* 19:00-

* 関係者のみの式典となります。申し訳
ございませんが一般の方は入場できません。

5/14 (日)

第30回オール朝日フォトフェスティバル

場所* こどもの国

時間* 未定

* 他によさこい、和太鼓などもあります

『琉球國祭り太鼓自主公演

～迎恩～』

埼玉公演 4/15 (土)

場所* さいたま市民会館おおみや
大ホール

千葉公演 4/16 (日)

場所* 森のホール21 (松戸市文化会館)

神奈川公演 6/3 (土)

場所* 川崎市教育文化会館 大ホール

東京公演 6/11 (土)

場所* 調布市グリーンホール 大ホール

4公演とも

開場 12:30 開演 13:00

チケット¥1000-です。

11/4 (土)・5 (日)

東京支部十周年記念公演

時間* 13:00- / 17:00-

場所* 中野サンプラザ
大ホール



※各イベントの詳細につきましては、東京支部HPを
ご覧いただくか、祭り太鼓東京支部事務局へお問い合わせ下さい。イベントによっては、直前まで内容が決定しないものもございます。ご了承下さい。



名幸コラム

今回のお題は

「ウチナーの
来た道」

沖縄の那覇空港に降り立つ度に感じるの「顔の違い」です。もちろん、空港には様々な人が行き交い、県外の人も少なくないのですが、やはり目を引くのは典型的な沖縄人の顔つきなのです。眉が太くて、二重まぶたの目はクリっとして、髭が濃い。本土の日本人と比較すると、明らかに彫りの深い顔立ち。いわゆる濃い顔です。どちらかというと東南アジア系に近い顔立ちが多いです。いったい現代沖縄人のルーツはどこにあるのか？南の沖縄人と北のアイヌは祖先が同じだという説もあるが、骨を比較するとかなりの違いがあるらしい。また沖縄だけでも、本島と宮古、八重山を比べても文化、言語の違いがある。先島諸島のルーツは沖縄本島とは違い、南方系の文化が強いのです。つまり沖縄という土地は先史時代以降、大陸や本土、南方から様々な人種、文化などが混ざり合ったまさにチャンプルーな文化の集まりですね。最近ではアメリカの文化も混ざり、そこから新たな文化が生まれる。こうして、人種、言語、文化は時代と共に変わっていくものなのですね。皆さんも自分の生まれた土地の文化や言語のルーツを調べてみると面白いかも知れませんよ 名幸コラムでした。

寄付のお願い

いつも私たち琉球國祭り太鼓東京支部の活動をご支持いただき、誠にありがとうございます。おかげさまで今年で創立10周年を迎えることになりました。今後も様々な活動を通して、沖縄の文化・芸能を広く伝えていきたいと、メンバー一同練習に励んでいます。しかしながら、私たちはアマチュア団体でありますので、運営資金のやりくりには非常に頭を悩ませております。大変恐縮なお願いではございますが、運営資金のご寄付を募っております。(3500円以上寄付くださいました方には、記念公演ビデオ・DVDを送付させていただきます)皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い申し上げます。

郵便振替口座

記号番号 00170-6-593950

加入者名 琉球國祭り太鼓東京支部

編集後記



今回はまたも新体制での「ゆんたく」づくりとなりました。デビューをめざして練習に専念していた新人さん二人が新たに加わり作り上げた「熱かった俺達の2005 スペシャル」。10周年なので10ページです。楽しんでいただけたでしょうか。また私たちの演技を観て頂いて、その背最も面白いと思っていたら幸いです。

担当* 澤口・榎本・小黒・

高橋・兼城・尾崎